



紫雲児の心

当校では、生徒や保護者、職員のアンケート、各種調査などを基に取組を評価し、改善策を立てて次の取組へとつなげています。7月に実施した生徒・保護者アンケートの結果をお知らせします。アンケート結果をもとに、職員で1学期の取組を振り返り、2学期からの取組について確認をしました。10月3日（水）に、学校評議員会兼学校関係者評価委員会で結果を説明し、学校評議員の皆様からのご意見をいただきました。

令和7年度 第1回学校評価生徒・保護者アンケート集計結果より(抜粋)

<学習について>

<生徒アンケートの結果から>

○「1 授業を大切にし、わかるように努力した」

ほとんどの生徒（94%）が肯定的評価をしています。昨年後期の結果とほぼ同じ結果ですが、昨年度前期の結果より「1:良くあてはまる」の割合が高くなっています。授業に対する意識の向上が維持できています。

○「2の① 学習タイムではきちんと学習に取り組むことができた」

○「2の② 朝学習や学習タイム、終学活での学習計画を生かして、自分で家庭学習に取り組んでいる。」

終学活後に10分間の学習タイムを設けています。そこでは、家庭学習の計画を立てたり、自学や宿題に取り組んだりしています。2の①の結果と2の②の結果に相関関係が見とれます。今後も重点事項として取り組んでいきたいと考えます。

○「毎日、1時間以上、家庭学習(宿題・自学)を実践した。」

肯定的評価は昨年度後期と比較すると、全校では11ポイント上がり70%でした。当校では「学習タイムにしっかり取り組む」ことにより「家庭学習に計画的に取り組める」ようになり「家庭学習時間が増加」する。という仮説のもとに学力向上を目指しています。



<保護者アンケートの結果から>

○「1 お子さんは、毎日1時間以上家庭学習に取り組んでいますか」

肯定的評価は、1年生64%、2年生55%、3年生58%、全体では58%でした。この結果がさらに向上するように取り組んでいきます。



<メディアの利用について(メディア:テレビ、パソコン、ゲーム、携帯電話等)>

<生徒アンケートの結果から>

○「1 平日のメディア利用時間2時間以内を意識して生活した。」

肯定的評価は、1年生80%、2年生68%、3年生49%、全体では65%でした。学年が進むにつれ、メディアの誘惑に負けている現状が見られます。メディア時間と家庭学習時間は相反する関係があります。今後も講演会や学級活動などを活用してより良い利用の仕方について指導していきます。

<保護者アンケートの結果から>

○「2 お子さんのメディアに接する時間は平日2時間以内ですか」

肯定的評価は、1年生41%、2年生35%、3年生27%、全体では34%でした。生徒と保護者の結果に約2倍の開きがあります。親子で学ぶメディア学習など家庭と一緒に取り組む活動を取り入れて行きたいと考えます。



<学校生活について>

<生徒アンケートの結果から>

○「1 学校生活が楽しい」

肯定的評価はどの学年も80%以上で、全体でも89%です。このアンケートでは逆に否定的意見の回答をした生徒の様子をよく見て一人一人に寄り添ったサポートをしていきたいと思います。

○「2 学校行事や諸活動、授業などを通して「他の人の役に立った」「他の人に喜んでもらえた」と感じるがあった。」

肯定的評価は、1年生86%、2年生85%、3年生80%、全体で84%でした。

○「3 学校行事や諸活動、授業など他の人と関わることで、お互いを理解したり、認め合うことができた。」

肯定的評価は、1年生96%、2年生93%、3年生87%、全体で92%でした。学校行事や各活動で互いを認め、励まし合う活動などに力を入れて取り組んだ結果だと考えます。今後も紫雲寺中学校の良い点として引き継いでいきたいと思います。

○「4 学校行事や道徳の授業、その他の諸活動を通して、人権や差別(いじめを含む)について考え、具体的に行動を起こそうとしたことがあった。」

肯定的評価は、1年生97%、2年生93%、3年生94%、全体で95%でした。差別・いじめに対する意識がさらに向上するように取り組んでいきます。

<保護者アンケートの結果から>

○「2 お子さんは学校生活を楽しくしていると感じましたか」

全校の肯定的評価の割合は84%でした。昨年度後期より向上しています。

※ 昨年度後期より保護者アンケートでは、「わからない」の選択肢も追加しています。

○「3 お子さんは、学校行事や諸活動、授業などで「他人の役に立ったり友達に喜んでもらえたりしている」と感じていますか」

全体では64%の方が肯定的に評価してくださいました。生徒アンケートでも肯定的評価が増加しており、学校とご家庭の両方でこともたちの自己有用感を高めていきたいと考えています。



<学校評議員の皆様から>

10月3日(金)に学校評議員会を行い、前期学校評価を基に、学校運営について説明し、ご意見をいただきました。

<知育面>

- ・わかったときの喜びを実感させてほしい。
- ・小学校から積み重ね、全体的なレベルアップを図ってほしい。
- ・教育の問題点が現在ドラマ化されている。じっくり見てみると様々なことが分かる。

<徳育面>

- ・一小一中の強みを生かし、小中連携9年間のプランを立て、子どもの育成に取り組んではどうか。

<体育面>

- ・SNSに関しては中学生が危ないように思う。外の人と簡単につながることができ、承認欲求を簡単に満たせてしまい、ネットの中が安全と錯覚してしまう。講話等でも、一歩踏み込んだ内容を見せ、伝える必要がある。自分を律し、自分の使用時間や使用に伴う体調不良などに自分で気づくことが大切になる。

貴重なご意見ありがとうございました。

いただいたご意見は今後の参考にさせていただき、生徒のために、より良い紫雲寺中学校を目指して全職員で努力して参りますので、今後ともご理解・ご協力をお願いします。

保護者アンケートの自由記述でも、多くのご意見やご要望をいただきました。全体に関するものについて、校内で検討した結果をお知らせします。

ご意見・ご要望	学校からの回答
先生方が授業を工夫してくださり、楽しく面白い！と学んでいる教科もあり、学習意欲に繋がっているなど感じています。	ありがとうございます。面白いと感じてもらえる教科が増えるように、これからも研鑽を積んでまいります。
中学校に入学して、小学校の頃よりもイキイキしていると感じています。体調面は不安定な時期があり心配しましたが、先生方や友達のサポートがあり、充実感を得られる生活を過ごしています。本当に有り難いです。ありがとうございます！2学期もよろしくお願いします。	こちらこそ2学期もよろしくお願いいたします。担任だけでなく、全教職員でお子様の成長の手助けをしていければと考えております。今後も、充実感、達成感を味わえる学校づくりに励んでまいります。
いつもお世話になりありがとうございます。今のところ思いつきませんでしたが、気になることがあれば連絡致します。今後ともどうぞよろしくお願い致します。	こちらこそ当校の学校活動にご理解、ご協力いただき感謝しております。小さなことでも構いませんので、気になることがありましたらご連絡いただけたらと思います。
今年度はテスト期間の直後に大事な大会があり、勉強にも練習にも集中しきれなかったようです。様々な競技の大会がある中で難しい部分もあるとは思いますが、テストの日程が大きな大会の前に来ないようにできる限り配慮していただければありがたいです。	今年度は、一部の生徒が関係する大会と近くなってしまいましたが、多くの生徒が関係する大会との関係で、やむを得ないと判断しました。テストの日程や範囲を早めに周知し、日頃から計画的に学習を進められるように指導しています。
行事のリーダーなど、毎年同じ子がやるのが悪いわけではないですが、やったことのない子がやりたい場合、優先してできる機会があると、子どもたちの自己肯定感や非認知能力が更に育つのではないかなあと思いました。	ご意見ありがとうございます。成功・失敗に関わらず、様々な活動に主体的に取り組むことが、生徒の成長につながると考えております。学校、学年で活動を見直して参ります。よろしくお願いいたします。
学校でタブレットの接続が悪く、開けないことがあるようです。改善のご検討をいただければ幸いです。	ご心配をおかけして申し訳ございません。現状を教育委員会・保守業務会社に伝え、改善をお願いしていきます。
更衣室はなぜ使えないのですか？	体育館更衣室は、緊急避難時の避難所別室に指定され、様々な物品が搬入される可能性があります。また、部屋が小さく、全校生徒が入ることが不可能ですので、使用を控えております。
送り迎えの時駐車場が混みやすい。たまに事故が起きている。	情報提供ありがとうございます。駐車場内は事故防止のため、時計回りの一步通行をお願いしております。送迎されるご家族等へも、確実にお伝え願います。

令和7年度 教研式 標準学力検査N R Tの結果について

※ 4月に全学年で実施し前年度の学習内容の定着度を確認しています。(全国平均を50としています。)

各学年・各教科の平均は以下のとおりです。(在校生は1・2年時との比較です)。

	1年生	2年生		3年生		
	R 7年度	R 6年度	R 7年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
国語	47.0	48.6	47.0	45.0	45.1	45.7
社会	44.8	47.1	47.5	44.0	42.2	45.9
数学	46.5	48.2	48.3	45.9	44.3	44.0
理科	44.1	45.2	45.4	45.4	42.7	44.5
英語	—	—	51.5	—	46.4	46.3

2年生の英語を除きすべての学年・教科で全国平均をやや下回りましたが、2・3年生は昨年度並みか上昇傾向の教科もあります。学習内容が難しくなる中で、生徒たちが努力していることがわかります。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

※ 毎年4月に、全国の小学校6年生と中学3年生を対象に実施される調査です。今年度は国語・数学に加え、理科も実施され、例年同様に「質問紙調査」も行われました。結果の概要をお知らせします。

【各教科の調査結果から】

平均正答率の全国・県と比較では、国語と理科はやや下回り、数学は大きく下回りました。国語は、知識・技能は全国・県をやや上回り、中でも「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率が高くなりました。しかし、「思考・判断・表現」は全国や県と比べて低く、特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」が苦手という結果でした。数学では、「数と式」の平均正答率が全国の平均正答率を大きく下回り、課題と言えます。また、国語と同様に「思考・判断・表現」が低いという結果でした。理科では、基礎的な元素記号の正答率は全国及び県平均を大きく上回り、基本的な実験の方法を問う問題の正答率が高かったです。反面、実験結果をモデルで表したり、判断する理由を記述したりする問題の正答率は全国・県を大きく下回りました。

【質問紙調査結果から】(○：良かった項目 ▲：課題がある項目)

- 「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところを分かるまで教えてくれる」が高い。
- 国語が「好き」「よく分かる」と答えた生徒の割合が高い。
- 国語、数学、理科の3教科とも、「得意」の肯定的評価が高い。
- 国語の授業で、「先生は、あなたのよいところや前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれる」「先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる」の肯定的評価が高い。
- ▲ 数学も理科も「得意」と答えている生徒が全国より多いのに、「好き」「よく分かる」は低い。
- ▲ 「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている」の肯定的評価が低い。

今年度の学力調査の結果からは、紫雲寺中学校の傾向として、記述問題や難しい問題だとあきらめてしまい、粘り強く問題に取り組むことができていない生徒が多いことが課題です。小学校段階の基礎的・基本的な学習内容が十分に定着していないため、中学校の学習内容の理解が難しい状況が続いていて、学習への自信をもてないと考えられます。

夏休み中の職員研修では、これらの調査結果を基に全教員で協議し、各教科の課題を明らかにした上で2学期以降の具体的方策を考えました。さらに、学習を支える土台づくりとなる、基礎・基本の定着、学習環境の整備、学習規律の徹底、学級経営などにも、全職員が意識して取り組んでいくことを確認しました。

また、3小学校が1校に統合されて1小1中になり、地理的にも近くなったことを機に、紫雲寺地区の小中学校教員が相互に授業を参観し、小中学校9年間を通じて児童生徒一人一人が確かな学力を身に付けられるように、授業改善を進めていくことにし、2学期から相互授業参観を行います。

今後も全教員が「新発田市授業スタンダード」を意識した授業を工夫し、個々の生徒の学習状況を見取りながら指導を進めて、生徒一人一人が「わかった！できた！」と達成感を感じることで学ぶ意欲を高めていけるように努めていきます。